



ご挨拶

桂坂自治連合会
会長 菊池潤治

年度初めに当り一言ご挨拶を申し上げます。

去る4月17日、桂坂学区自治連合会総会が開催され、会長に選任されました。至らぬ者ですが、よろしくお願い申し上げます。

昨年度は、最後の最後に、悲しい終幕を迎えました。3月11日、午後2時46分に起こった、千年に一度の事だといわれる東日本大震災で、多くの方がお亡くなりになりました。心からお悔やみ申し上げます。また、罹災され苦難の生活を強いられる皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

その節には義援金によるご支援をお願いしましたが、桂坂学区としましては、5月中を目処としておりますので、皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。

次に、昨年度、特に印象に残ったものを拾ってみます。

① 小学校校舎の増築で

20110517
[1101]
総 157号
発行
桂坂自治連合会
広報編集部

合運動公園で実施された

この3月に完成し、同月25日に門川市長様等を来賓にお迎えして竣工式を行いました。

教室は、信州の小学校の教室を彷彿させる、逸品の木材を大量に使った檜の香り漂う、美しく立派なものです。

1階には「地域コミュニティの活性化」に繋がるよう配慮されて「カザラックルーム」(二教室分)と「クローバーホール」(三教室分)の二つの「多目的空間」が設置されました。「地域の自治活動が盛んな地域性を考慮」されていることで、

場合によっては、私たち住民にも開放していただけるので、「学校・地域の交流の場」として大いに期待をしております。

2階には、三つの普通教室と図書閲覧室。ほかエレベーター棟も新設されました。

11月3日、西京極総

多角的に分析検討をしていただきました。自治連合会のホームページ開設に当たっても大変お世話になりました。

このところ連続して広報「桂坂」に連載しております「古墳の森保存会」の設立の問題です。現在、外周に巡らすフェンス(高さ一八〇㎝)を西洋ハウジングの方で準備中であり、京都市も「古墳の森」の「移管」には前向きに考えているようにうかがえます。時期を見て京都市にお願いに参る予定です。

桂坂緑水会が平成18年5月、街路樹里親制度ボランティアとなつて以降京都市緑政課と再三にわたり意見交換会を開き、実際の作業も行つて、今回完成をみました。

地元的美観に熱意のある方が桂坂には多数おられることに頭が下がります。今後とも緑水会の活動を見守り、サポートしなければならぬと思っております。

本年度において画期的と思われることは、桂坂地区建築協定協議会が桂坂学区の各種団体に加入されたことです。

昨年2月には「景観まちづくりフェスティバル」を京大ローム記念館で開催され、また、インターネットをフル活用して、現在の桂坂の居住環境、二〇年後はどうか

ア. 不法迷惑駐車

おりです。いずれも立派な方たちばかりですのでご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

また、「事業計画」につきましても別に掲載いたしました。

桂坂の発展と安心・安全のまちづくりのために頑張りたいと思えます。なお、永らく事務局・自治会館担当をしていた内田圭子様が一身のご都合で退任されました。本当にご苦勞様でした。

以上、誠に簡単ですが年度初めのご挨拶といたします。

徹底排除
イ. 信号機の新設要請(東桂坂)
③ 自主防災部の育成と推進
③ 福祉施設等との協調による共生のまちづくり
① 高齢者・心身障がい者にやさしいふれあい
② 幼児保育・子どもの健全育成
④ 環境浄化へのとりくみ

① 桂坂学区統一クリーンデーの推進
② 地域ごみ減量対策の推進
③ 廃食用油リサイクルの推進
④ 環境に優しい暮らし

ア. 不法迷惑駐車

学区内の諸団体が親睦を深める
桂坂みどり会

去る5月8日(日)、ふれあい会館第1研修室において「桂坂みどり会」の会合が行われました。

この「桂坂みどり会」とは「自治連合会、各種団体及び小・中学校とそのPTA等教育関係に、ふれあいの里福祉施設関係も参加した、桂坂学区全域の連絡と親睦を深める会」のことです。各種団体には、今年度より新たに桂坂地区建築協定協議会が加わって、現在は二一団体(各団体名は別掲)あります。

それらについては、一昨年発行し各ご家庭に配布済みの『桂坂学区創立20周年記念誌』(自治連合会のホームページでもご覧いただけます)にも掲載しておりますが、住民の安心・安全や環境に関する事、子どもたちに関すること、文化的なことなど、活動領域は様々です。しかし、それぞれが縦糸・横糸となつて、桂坂のために「ネットワーク」を形成してまいります。

今後、広報では、皆様に「桂坂みどり会」の会員である各種団体や学校関係、施設などの活動の様子をお知らせしていきたいと考えております。

編集委員 浅田泰子

ア. 不法迷惑駐車

チャリティバザーの開催

この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますと共に、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

桂坂体育振興会では、被災者の方たちに対して何か「たすけあい運動」ができないものかと思ひ、下記のごとく「チャリティバザー」を開催することにいたしました。

桂坂の皆様へのあたたかいご協力をお願いいたします。

日時 6月4日(土) 午後2時～4時
場所 桂坂小学校 かざらっかルーム

なお、バザーの売上金は全額、京都新聞社社会福祉事業団扱いで「東日本大震災救援金」として送ります。

桂坂体育振興会

山の手倶楽部だより

創立20周年を迎えました
倶楽部のおいたち

十年一昔といえますから二昔前、平成4年4月26日、桂坂小学校で産声をあげました。設立当初は三つの単位倶楽部で会員数一六〇名でしたが、現在は五つの単位倶楽部で、二六〇名余の会員となりました。いま、あちこちの老人クラブが世話人のなり手がなくなために姿を消してゆくなかで、当倶楽部が発展を続けているのは、初代会長の立

年の行事として地域女性会と共催で「趣味の作品展」を開催しました。随分前から地域女性会とは親しくさせてもらっています。私たちの後を承継ぐ方々の集まりですから、大切にしています。今年、創立20周年です。去る4月16日、ふれあい会館で盛大な記念式典と祝賀会が開催されました。そして、会員の皆さんは30周年に向かって頑張るぞと、堅い決意をしました。事務局



平成22年度「献血会」の結果について
桂坂献血会・保健協議会
去る3月17日、皆様の協力のもと、イズミヤ駐車場において、22年度第2回の献血会を行いました。雪が舞い、強風吹き荒れるという厳しい天候でしたが、次のとおり多くの方のご協力を頂きました。



「桂坂献血会」合計
この広報一五七号は、3頁立てで二枚、二枚目の裏面は白紙です。新しい編集委員の名を掲載する予定でしたが、スペースの関係から、次号に載せることにいたします。
次号の発行は、6月21日(火)に予定しております。

- I. 第2回献血会
● 献血受付者数 五四人
前回比 十六人
● 献血者数 三九人
前回比 十六人
● 不適格者数 一五人
前回比 〇人

「桂坂献血会」合計
● 献血受付者数 一〇二人
前年度比 十四七人
● 献血者数 七二人
前年度比 十三五人
● 不適格者数 三〇人
前年度比 十二二人

「赤十字社員増強運動月間」ご協力をお願いします
桂坂学区の皆様には日頃から赤十字事業に温かいご支援・ご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。
日本赤十字社は国内・国外で多発する自然災害などに対して医療救護活動や救援物資の搬送、救護看護師の養成と血液事業の推進、ボランティアの育成強化など「人道・博愛」を基本理念とした赤十字の使命達成に幅広い活動をしております。
今年、東日本大震災という未曾有の大惨事があり、全国民が一致協力してその復興を支援しております。
日本赤十字社も医療救護と支援活動に、いち早く取り組みを始めました。今回の同社の活動を通して、日本赤十字社の役割が非常に大切なものであると改めて痛感した次第です。
2011年度は「人間を救うのは人間だ」をスローガンに5月1日から31日まで、「赤十字社員増強運動月間」といたしまして皆様のご協力を宜しくお願いいたします。
桂坂学区赤十字奉仕団 分団長 松井 政枝

- 平成23年度 桂坂学区自治連合会役員・委員名簿
会長 菊池 潤治
副会長 星野 義一
星野 義一 あかしあ
細谷 修三 かえで
伊藤 一男 しのぶ
中川 マスコ しのぶ
林 正信 さくら
山崎 貴治 くすのき
会計 井ノ崎重美 さくら
事務局 鈴木 文雄 あかしあ
事務局 長谷川幸子 しのぶ
事務局 平岡 和子 しのぶ
事務局 小西 京子 つばき
事務局 村上敬衣子 ひいらぎ
事務局 加藤 貞雄 しらかば

- 防犯防災担当 浅田 泰子
青少年担当 千葉 仁
福祉担当 喜多 留女
体育担当 倉田 容
交通安全担当 坂部 行雄
環境美化担当 味田 良夫
出口 幹人
井尻 安雄
山本 亮治
河川美化担当 盛田 大蔵
大淵 敏行
井上孝一郎
総務担当 野州 壽子

- 庶務担当 清水惟生子
野村 達哉
監査役 乗本 政三
日比野俊之
相談役 糺田 博
田畑 昭三
委員 岡本 真和
山崎 義仁
羽野 司朗
榎原美智子
木ノ下和子
酒井 雅弘
竹谷 嘉弘
大迫 成子
柴田 哲雄
金 武祚
安東 淳子
角 俊之
北尾 樹美

- 各種団体・施設の長
市政協力委員
桂坂学区自主防災会
桂坂社会福祉協議会
桂坂体育振興会
布本 和久
「日赤」桂坂奉仕分団
松井 政枝
「日赤」桂坂奉仕分団
松井 政枝
共同募金会
桂坂学区分会
桂坂保健協議会
飯田 章
桂坂献血会
飯田 章

- 桂坂 民生児童委員協議会
鈴木 晃司
桂坂支部 服部 憲夫
西京消防団桂坂分団 安井 義夫
桂坂地域女性会 水谷 洋子
桂坂交通安全推進会 森園 秀治
桂坂 防犯推進委員協議会 梶間 俊郎
桂坂山の手倶楽部 八木 兵司
桂坂地区 建築協定協議会 桑原 尚史
桂坂暴力追放協議会 菊池 潤治
桂坂小学校校長 飯田 章

- 西京更生保護女性会 山本 泉
桂坂地区 松井 政枝
西京区明るい選挙 推進協議会桂坂地区 細川 和子
桂坂教育後援会 大枝中学校PTA会長 藤本 明弘
平安講社第十一社 桂坂学区 基太村博美
桂坂小学校校長 飯田 章

- 大枝中学校校長 岡村 信行
西総合支援学校校長 小林 一義
桂坂小学校PTA会長 福家 崇明
大枝中学校PTA会長 藤本 明弘
桂坂保育所所長 藤村 貴子
桂坂児童館館長 海原 洋
東桂坂保育園園長 望月 雅史
ふれあいの里 保養研修センター 所長 宮本 史朗
ふれあいの里 施設長 浅井伊知人
ふれあいの里 施設長 赤井 和子
ふれあいの里 施設長 阪田 信弘
特養老人ホーム 施設長 佐賀 眞一

「体振」ニュース

二ニューススポーツ大会
桂坂体振チーム

大健闘

3月20日、西京区体育振興会創立35周年を記念する二ニューススポーツ大会が、上桂公園、桂川小学校、桂川地域体育館の三会場で開催されました。グラウンドゴルフ、ペタンク、バウンドテニスが行われ、それぞれグラウンド、体育館に分かれて競技が始まりました。ペタンク、グラウンドゴルフでは一投一打に拍手や溜息がこぼれ、ホー

ルインワンも飛び出しました。選手たちの集中した真剣な表情が印象的でした。

また、バウンドテニスでは、各ペアがそれぞれの持味を發揮し、大接戦となった境谷体振戦では土俵際に追い詰められながらも、見事な逆転で、勝利を収めました。

各競技の選手の皆様の頑張りには、勇気と元気をいただきました。選手の皆様、ありがとうございました。

なお、当日は開会式に先立ち、東日本大震災で亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、大会関係者、選手全員で

黙祷が捧げられ、また、義援金の募金に協力してまいりました。一日でも早い復旧を心から祈っております。担当 徳光 憲正

桂坂「古墳の森」の清掃

5月21日(土) 午前9時~12時

正門・移設古墳周辺の草むき、きれいにします
ご協力いただける方、正門前にお集まり下さい

「桂坂古墳の森保存会」設立準備会

連載 大枝山古墳群 ⑥

兄国、弟国、桑の郡 (6)

京都市埋蔵文化財研究所 丸川 義広

古墳群の所在する大枝は、かつて乙訓郡に属した。乙訓の地名は、『日本書紀』垂仁紀に「葛野と興より落ちて死ぬ。墮国」といふ。今、弟国という「弟国」は「兄国」への対語であり、「兄国」には葛野を当てる説が有力である(『京都新聞』二〇〇五年五月三・一〇・一九日記事)。古墳分布からみると、古墳時代後期には嵯峨野に首長墓があるので、兄国を葛野とみて問題ないと思われる。

前回、大枝山古墳群や福西古墳群は古道を意識して造られたことを記述したが、田辺昭三氏は大枝山古墳群の報告書の中で「秦氏の動向を丹波の歴史の中で追う必要があるだろう」との一文を寄せている。改めて注目してみると、亀岡盆地の開発に葛野の勢力が関与したことは、松尾神が鯉に乗って大井川を遡ったとする大井神社(亀岡市大井町)の社伝、松尾神社(小川)月読社の存在、付近に川勝姓(秦河勝に由来するという)が多いことなど、渡来的な要素が多い点が注目される。秦氏といえは織物(養蚕)が有名であるが、養蚕には桑が不可欠である。その桑については『日本書紀』雄略天皇一六年七月条に「桑に宜しき国県にして桑を殖えしむ。又秦の民を散ち遷して、庸調を献らしむ」という記事がある。この「桑」に由来するのが「桑田郡」つまり亀岡市の前身、南桑田郡というのである。さらに『日本書紀』には前年に「秦の民を聚め

秦造公に賜う。庸調を奉納し禹豆麻佐という」という太秦の語源となった記事がある。このような秦氏の編成と太秦称号の付与、桑場の設置と秦氏の管理という一連の記事は、山城(葛野)と丹波(桑田)の関係を記述したものとみてよいであろう。その交通路沿いに大枝山古墳群が築かれたのであるから、桑場の管理と運営に古墳を造った人びとが関与していたとみても不自然ではない。秦氏による開発といえは、「葛野大堰」に代表される土木技術が強調されてきた。しかし桑場の管理・織物の献上も、同様に注目すべきことである。古墳を造った人びとが桑場の管理に携わった集団とみるなら、秦氏の中でも中心的な集団であった可能性があり、象徴を施した鉄刀も畿内政権から報償的な意味で配布されたことになる。そのことを田辺氏は喚起しておられたのだと思う。このようにして北山城(亀岡を含めて)の開発は進展し、応神紀の国讃歌が歌われたのであろう(本紙第一五二号記載)大枝山古墳群はそうした可能性を秘めた古墳群だということを、改めて見直す必要がある。

「集団健診」のお知らせ

胸部(結核・肺がん)検診、大腸がん検診と「特定健康診査等」が下記の日時、場所で行われます。— 健康管理のために、年に一度は受診しましょう。

6月14日(火) 午後1時30分~3時30分 桂坂小学校体育館

詳しくは保健センターニュース「集団健診のお知らせ」(4月回覧)、同「胸部(結核・肺がん)検診、大腸がん検診を受けましょう」(5月各戸配布)でご確認ください。

受診に当たってのご注意

- 胸部(結核・肺がん)検診、大腸がん検診は、京都市民の方であれば加入されている保険に関係なく受診できます。対象年齢、検査内容、費用等を保健所ニュース等でよくご確認ください。
- 特定健康診査等(問診・身体計測・腹囲測定・血圧測定・尿検査・必要により心電図)は、小学校等、協力医療機関、協力人間ドック医療機関のいずれか一カ所で受診することができます。
- 受診される方はそれぞれ受診者宛に送られる「受診券」や「受診票」、「受診の手引き」等で、受診の方法や内容についてよくご確認の上、受診してください。

※ 受診に必要な「受診券」「保険証」「生活保護需給証明書」等を忘れないようにしてください。桂坂保健協議会

桂坂学区の皆様へ

桂坂小学校PTA

平成22年度「古紙回収」収支報告書

さわやかな風薫る新緑の季節となりました。平素は、古紙回収をはじめとするPTA活動にご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年度古紙回収の収支は、下記の通りになりましたのでご報告させていただきます。今後とも古紙回収の目的をリサイクルの推進とし、また、収益については子どもたちのために活用していくとともに、地域の皆様にも行事や活動を通して還元できますよう、続けていきたいと考えております。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

- ・前年度繰越金 2,652,748円(A)
- ・平成22年度「古紙回収」収益金 601,005円(B)

【収入の部】

年 月	金額 円	年 月	金額 円
平成22年 4月	47,835	11月	55,275
5月	45,605	12月	55,555
6月	45,810	平成23年 1月	47,540
7月	41,175	2月	59,230
8月	45,185	3月	60,225
9月	38,775	預金利息	570
10月	43,225	京都市からの補助金※	15,000
収入合計(B)		601,005	

※ 京都市の『コミュニティ回収制度実施団体に対する助成制度』により桂坂小学校の古紙回収活動に対して上記の助成金が交付されています。

【支出の部】

費 目	決算額	内 訳
カザラッカコンサート	250,000	運営費、楽器運搬費等
その他	1,043	助成金申請用切手代金等
	71,600	新校舎竣工記念お祝い(菓子・飾り花代)
支出合計(C)		322,643

【残金】(A) + (B) - (C) 2,931,110円

残金 2,931,110円は、23年度に繰越しされます。